

3月26日開催『新しい資本主義実現会議』提出資料

東京大学 柳川範之

需要制約経済から供給制約経済に移行に伴う課題と方向性

需給を反映して価格が動くよう、市場メカニズムをしっかり機能させる
少し先の供給力・付加価値生産性が高まるような「投資」を行うこと
より多様なアイデア・創意工夫が活かせる環境を整備すること

・高齢者・シニア層のより多様な働き方ができる環境整備

新しい活躍場所を見つけられる、そのための環境整備が重要
地域企業との連携、兼業・複業による活躍
シニアのスモールビジネス起業、ソーシャルビジネス起業
そのためのリスクリングが極めて重要

・供給制約を、新しい豊かな経済実現の契機とする

省人化投資、自動化投資、労働生産性向上投資の推進
様々な制約がある人でも、より積極的に労働参画できるように
スキルアップ支援の重要性

事業再編、M&A を通じた各業界の供給力と付加価値向上

多様な事業承継支援策

中小・小規模企業が事業譲渡・M&A を行う際の専門家への手数料支援

経営者の個人保証を見直す枠組みづくり

スタートアップや起業を通じた新しいアイデアの創出